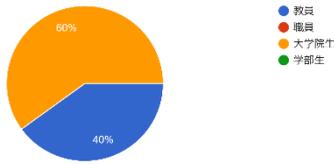


2024/1/16 国際共同研究成果発表会アンケート結果 (Zoom 参加者 12 名、対面参加者 3 名)

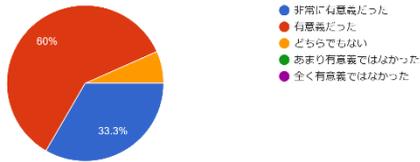
1. 職名 15 件の回答



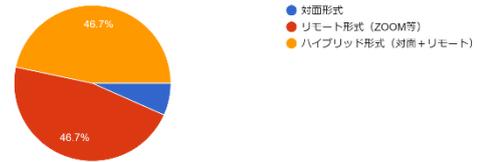
2. 所属 (研究科名等をご記入ください) 15 件の回答



3. 本日の女性研究者国際共同研究成果発表会の感想をお聞かせください 15 件の回答



5. 研究成果発表会の開催形式についてご希望をお聞かせ下さい 15 件の回答



4. 質問3の回答を選択された理由をお聞かせ下さい 10 件の回答

- ・現地、オンライン研究のデメリットメリットについて学べた
- ・コロナ禍で渡航が難しい中でも共同研究を実施された実体験を拝聴することができた。
- ・様々な分野の研究を聞くことができ、ご活躍されている女性研究者の方が多くいらっしゃることを知ることができたのでとても有意義な時間でした。
- ・分野が大きく異なっていたため、報告されていた内容に関してはあまり理解が出来なかったのが、国際共同研究としてどのように研究してきたか、コロナ禍での影響といった話には興味を惹かれた。
- ・自分にとっては、レベルが高かったが、女性研究者が活躍している状況を知り、モチベーションにつながったため。一人ではやり遂げられないことも共同研究という形では、大きな成果になると感じた。逆に、自らの知識や培ってきた技術は小さくても、必要とされている可能性も感じた。
- ・何人の先生が新型コロナウイルス感染症の移動制限で海外に行けなかったようですが、オンラインでも活用できるのは初耳です。
- ・このセミナーについては、年齢も専門分野も異なる女性研究者の発表である。地理学、法学、生物学、医学、その他の職業が関わっている。様々な分野で活躍する優秀な女性研究者を知ることができた。また、一人の女性研究者として、これは私を深く勇気づけた。そしてこのセミナーで、私は自分の専門分野と他の分野の最前線に関連する新しい知識を学んだ。
- 1.知識と理解の増進:これらの報告を聞くことによって、関連するテーマについての知識と理解を深めることができます。
- 2.多様な視点の重要性:女性研究者は、伝統的な男性主導の研究とは異なる視点を提供することができ、学術的、社会的対話の多様性を促進することができます。
- 3.ジェンダー平等の支援:女性研究者の活動への参加と傾聴は、ジェンダー平等と学術分野における女性の地位向上を支援する手段です。
- ・自分の研究分野とは異なりますが興味深く拝聴しました。国際共同研究を行われた経緯、背景、実際の苦労や面白さを生の声で聴くことができ、私自身もいつか機会があれば海外での共同研究を行ってみたいと思いました。
- ・いろいろな分野の話が聞くことができた。

6. 研究成果発表会へのご意見をお聞かせください

- ・様々な分野の研究を聞くことができる良い機会だと思います。
- ・続く交流会で明確になるのかもしれないが、研究成果以上に、どのように共同研究を行っていったか、共同研究を行う上での困難や利点等も大変関心があった。
- ・このようなセミナーにもっと参加したいと思っています
- ・対面で開催いただいたことでより有意義なものになったと思います。次回もぜひ参加させていただきます。
- ・”PI 養成”という観点から、現在の国際共同研究においてどのようにリーダーシップをとっているのかわかればもっと良かったと思う。